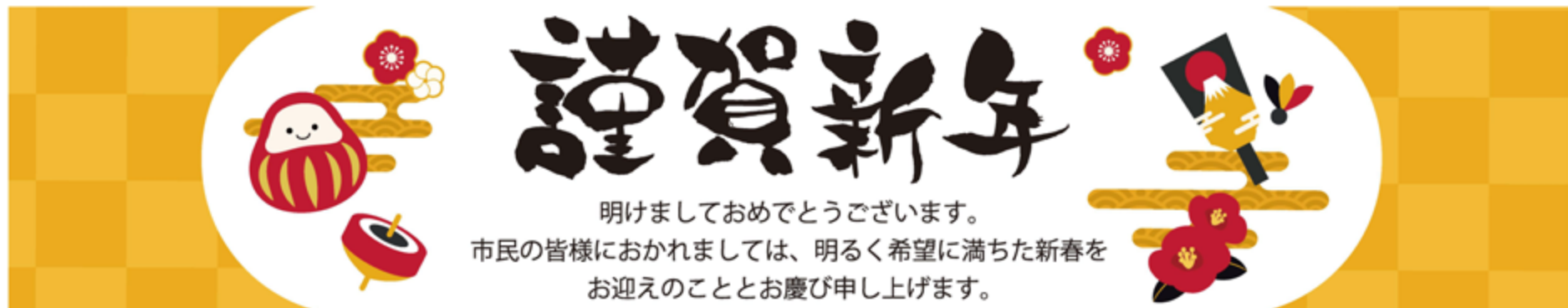


会長 **幹事長** **会計** 志清会は、あきる野市議会で志を同じくする11名の議員による政策グループです。 ※上段：氏名、年齢
中段：住所、当選回数 / 下段：担当

										
ほりえ たけし 堀江 武史(44)	むらの えいいち 村野 栄一(54)	よしざわ ゆたか 吉澤 雄孝(63)	こごもり としひと 子籠 敏人(48)	あまの まさあき 天野 正昭(65)	なかじま ひろゆき 中嶋 博幸(55)	くぼしま せいいち 窪島 成一(67)	ひはら しょうご 日原 省吾(56)	なかむら かずひろ 中村 一広(53)	うすい けん 臼井 建(52)	うらのはるみつ 浦野 治光(66)
📍 測上 5回	📍 二宮東 3回	📍 伊奈 1回	📍 菅生 4回	📍 小和田 3回	📍 留原 3回	📍 平沢 2回	📍 野辺 2回	📍 秋川 2回	📍 秋留 2回	📍 草花 1回
都市整備	公共交通等	医療・福祉等	子育て・教育等	農林・獣害	地域防災	生活・高齢者	デジタル等	商工業	広報・行財政等	環境経済



❁ 新春座談会 ❁

私たちは、主に市内の都市基盤上の課題について3か月ごとに田村利光都議会議員と現地を視察し、都へ改善の要請などを行っています。
今年度は8月に市内2カ所の視察を行いました。今回は都議と

会派でじっくり市内の課題などについて意見交換し、都による支援の要請を行いました。今後も、田村都議と連携し、市民の生活環境の向上に努めてまいります。
以下、主なやりとりを抜粋してご紹介します。



新春座談会の全容はこちら

新春座談会の全容は志清会公式ホームページよりご覧いただけます。



田村利光都議
東京都議会自由民主党

志清会
あきる野市議会自由民主党

東秋留橋から小川までの遊歩道の復旧はいつ頃の予定か。
都議 台風後の志清会との視察の後、地域からの要望も重なり都と調整を行ってきたが、令和4年度設計・令和5年度整備着工の予定で進めている。

森林環境譲与税の利用先として、23区は東京の森林のある地域へ支援してほしい。また、広葉樹は支援がないので、荒れている広葉樹の森を何とかしてもらいたい。

都議 23区の担当課長などに西多摩を理解してもらうため、視察に来てもらった。今後は檜原地域も視察してもらう計画である。また、今後、広葉樹の森の整備に理解を求めていく。

障がい者に対するICT環境の整備についての検討状況は。
都議 障がい者のICTとして、体に合ったものを提供することが大切。軽度の場合では社会進出の手助けができると考えており、現在、支援員を配置できるようになるまで進んでいる。 ※障がいのある人でも簡単に利用操作できるICT機器。

地域公共交通(デマンド交通など)について、昨年、都担当者と志清会・田村都議で意見交換会をしたが、その後の状況は。

都議 市境を超えた広域移動が大きな課題。自治体間の負担割合を検討する上で、利用者移動情報の蓄積・分析などが必要。市民が使いやすい地域公共交通の構築に取り組んでいきたい。



学校トイレの悪臭対策実施へ

堀江 武史がご紹介いたします。

私たちは、市PTA連合会から「トイレの悪臭を何とかしてほしい」という要望を聞いて、3年前の2019年1月に、**会派全員で分担して全部の市内小中学校を調査**し改善の検討を進めてきました。

今議会で補正予算により、一部の小中学校

で試験的に**抗ウイルス液剤（ダイヤニウムコート）**を便器などに塗布することになりました。これにより、**清潔で悪臭のないトイレ環境**を子どもたちに提供できると考えています。



あきる野市の農作物被害に伴う獣害対策の取り組み

天野 正昭がご紹介いたします。

あきる野市の猿・猪・タヌキなどの有害鳥獣による農作物被害額は、**令和2年度で110万円以上**になっています。

これを防ぐため、本市では**3項目の対策**をもって被害の軽減を図っています。

- 1 **電気柵**の設置や貸し出し
- 2 農家などが自ら『**農と生態系を守り隊**』を組織し、捕獲事業に協力
- 3 **地元猟友会**へ追い払いや捕獲事業の委託

さらに昨年は**猟友会員2名を委託職員として本市に雇用**しました。

志清会には、議会会派の中で唯一、狩猟免許を持った議員が居ます。



シカの足跡を確認している様子



獣害対策用の電気柵

デマンド交通・空き家対策など行政視察を実施

10月20日と21日に、長野県佐久市役所と山梨県庁を訪れ**デマンド交通や空き家対策などの視察**を行いました。

佐久市のデマンド交通は、市内循環バスを廃止し、ワゴン車14台で実証実験を行い、また、空き家対策では、空き家バンクを活用し先駆的な移住施策に取り組んでいます。

一方、山梨県庁の空き家対策は、県・市町村・民間との協働で官民連携空き家活用ビジネスを展開しています。

本市の状況ですが、デマンド交通は、**補正予算の獲得により今年度中に実証実験に着手する運び**となり、今後着実に市民の要望に応えてまいります。

空き家対策は、市計画に基づき、**管理不全の空き家対策などを行いながら、実効性のある対策**を進めていきます。

志清会では、今後も、市民が高い関心を寄せているデマンド交通や空き家対策に全力で取り組んでまいります。



長野県佐久市にて

古民家再生事業・移住定住政策など行政視察を実施

11月17日と18日に、愛媛県大洲市と西予市を訪れ、**古民家再生事業や移住定住政策などの視察**を行いました。

大洲市は2018年に**観光地域づくり法人DMO**を設立し、その活動の柱として古民家を活用した宿泊施設の整備を進め、観光資源が固まっている市内を中心に、観光客を増やす取り組みを行っています。

西予市の移住定住政策では、**移住定住交流**

センターを設立し、**空き家政策や移住マッチング事業**をきめ細やかに展開。また、**せいよ地域おこし協力隊**に個人事業主タイプも導入することで移住定住で成果を上げるとともに、地域活性化も図っています。

志清会では、重点施策である空き家対策、観光まちづくりなどを今後も全力で取り組んでまいります。



愛媛県西予市にて

